

平成30年度 地方創生交付金活用事業 実施状況

平成30年度地方創生交付金活用事業一覧

1. 地方創生推進交付金 活用事業

No.	基本目標	交付対象事業の名称	事業概要	予算額	決算額	交付決定額	備考
1	基本目標3 “賑わいあふれる”まちづくり	観光支援事業	鹿放ヶ丘地域の魅力を高める鹿放ブランドの構築 農家の所得向上に向けた加工品開発及び販路開拓	4,000,000 円	4,000,000 円	2,000,000 円	地方創生推進交付金 交付額 1 / 2

実施状況等の見方

基本目標3 “賑わいあふれる”まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～											
No.	計画			実施状況			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
	事業名及び担当・交付金	事業の目的	事業概要	重要業績評価指標	事業成果	重要業績評価指標(実績)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	観光支援事業 【産業振興課】 交付金額 2,000,000 円	当市が新しく創出した産業に観光産業を位置づけ、他の産業に無い開拓の歴史を持つ鹿放ヶ丘地区を誘客できる目玉の観光地としていく。そのため、鹿放ヶ丘地区の魅力を発信と知名度の向上を図る。また、本産業の魅力を最大限に生かすため、鹿放ヶ丘地区内の飲食店で提供する新メニューを開発して販売を行い、農家の所得向上を図る。また、いちご産産、地域の祭りを活用し、観光客の誘客を図る。	●観光農園主催による落花生のオーナー制度を実施。 ●おまさりの収穫祭における5次産業加工メニューの販売。	●着地型旅行商品の売上：500,000 円 ●5次産業加工メニューの販売セット数：50 個	●着地型旅行商品である落花生(おまさり)オーナー制度を実施するため、関係者(鹿放ヶ丘観光農園ほか)による実施に向けた会議を2回開催し、実施後の来年度へ向けた会議を1回開催した。 ●着地型旅行商品である落花生(おまさり)オーナー制度を実施した。(種まき：5/21(土)、草取り：6/20(土)～9/22(土)～24(月)) (1 区画/5000 円、92 区画あり) ●落花生(おまさり)の収穫祭を開催し、関係団体により、落花生の販路を開拓した。	●着地型旅行商品の売上：450,000 円 ●5次産業加工メニューの販売セット数：20 個	地方創生に効果があった。			●「外部有識者からの評価」については、実施状況等に基づき、当該事業の評価を決定します。 ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。 ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない。	●「今後の方針」については、事業成果、事業評価並びに外部有識者からの意見等に基づき、当該事業の今後の方針を決定します。 ①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。 ②事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った) ③特に見直しをせず事業を継続する。 ④継続的な事業実施を予定していたが中止した。 ⑤当初の予定通り事業を終了した。

●「計画」に記載された内容は、交付金申請時の実施計画書より、各項目の内容を転記しています。

●「事業効果」については、以下の基準により評価を行っています。

- ①地方創生に非常に効果的であった。(指標が目標値を上回ったなどの場合に選択)
- ②地方創生に相当程度効果があった。(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成したなどの場合に選択)
- ③地方創生に効果があった。(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始よりも改善した場合に選択)
- ④地方創生に対して効果がなかった。(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合に選択)

●「外部有識者からの評価」については、実施状況等に基づき、当該事業の評価を決定します。

- ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。
- ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない。

●「今後の方針」については、事業成果、事業評価並びに外部有識者からの意見等に基づき、当該事業の今後の方針を決定します。

- ①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。
- ②事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った)
- ③特に見直しをせず事業を継続する。
- ④継続的な事業実施を予定していたが中止した。
- ⑤当初の予定通り事業を終了した。

基本目標3 “賑わいあふれる” まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～

No.	計 画				実施状況			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
	事業名及び担当課・交付金	事業の目的	事業概要	重要業績評価指標	事業成果	重要業績評価指標(実績)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	観光支援事業 【産業振興課】 交付金額 2,000,000 円	当市が新しく創出する産業に観光産業を位置づけ、他の地域に無い開拓の歴史を持つ鹿放ヶ丘地区を誘客できる目玉の観光地の一つにしていく。そのために、鹿放ヶ丘地区の魅力の発信と知名度の向上を図る。 また、本事業の実施に合わせ、鹿放ヶ丘地区並びに当市の農産物を使ったお土産品や市内の飲食店で提供する新メニューの開発そして販売を行い、農家の所得の向上を図る。また、いちご狩りをはじめとする農業体験、地域の祭りやイベントに参加する着地型旅行商品を開発、販売し、市内外からの交流人口の増加による地域活性化を図る。 交付金事業として最終年である今回は、鹿放ヶ丘地区の活性化へ向け、大粒でゆで落花生に適した「おおまさり」を活用したオーナー制度の実施を予定している。	・観光農園主催による落花生のオーナー制度を実施 ・おおまさりの収穫祭における6次産業化メニューの販売	・着地型旅行商品の売上: 500,000 円 ・6次産業化メニューの販売セット数 50 個	●着地型旅行商品である落花生(おおまさり)オーナー制度を実施するため、関係者(鹿放ヶ丘観光農園ほか)による実施に向けた会議を2回開催し、実施後の来年度へ向けた会議を1回開催した。 ●着地型旅行商品である落花生(おおまさり)オーナー制度を実施した。 (種まき…5/21(土)、草取り…8/16(木)、収穫…9/22(土)～24(月)) (1区画/5000円、92区画の申し込みあり) ●落花生(おおまさり)オーナー制度の収穫祭において、6次産業化メニューとして、関係団体である icoba 四街道1丁目により、落花生を取り入れた「落花生おにぎり」の販売を行った。 (収穫祭…9/22(土)、20個の販売)	・着地型旅行商品の売上: 460,000 円 ・6次産業化メニューの販売セット数: 20 個	地方創生に効果があった。	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	参加者が草取りや収穫作業等を行うことにより、農作業の軽減が図られ、他作業等に活用する時間が増えたこと。また関係人口が増加することで、当該地域の知名度向上やファン獲得にも繋がることから農家の意欲向上に効果があったと評価ができる。 今後の展開としてはさらなるブランド化による付加価値向上が必要不可欠と考えられることから、継続して事業を実施していくことで、ブランド力の向上につなげられたい。 さらに、効果的な事業展開のため、以下の点について検討されたい。 ①ターゲットを明確にすること。 ②市のシティセールス部門、他自治体(他都県も含む)と連携するほか、メディアや専門サイトを活用し、事業周知に努めること。	事業の改善(事業効果が不十分であったことから見直し(改善)を行い次年度からの事業に反映させる。)	四街道市鹿放ヶ丘地区の特色ある地域特性を活用し、引き続き興味を持ってもらえるような取り組みをしていく必要がある。 今回実施した落花生(おおまさり)オーナー制度が、単なる着地型旅行商品としてではなく、生産者の本業である生産作業の延長線上で実施できることで、作業負担の軽減、販路拡大などにつながり、生産者の所得向上と後継者不足の解消に役立つと考えられる。 今回については、生産者による農地や落花生の管理体制に不備が見受けられ、落花生の収穫に影響が出てしまったことから、今後は、役割を明確化し、参加者の満足度を高めることで、リピーターの確保につなげていく。 また、引き続き様々な媒体によるPR活動を展開することにより、新規オーナーを獲得していく。

鹿放ヶ丘観光農園



落花生(おおまさり)オーナー制度



チラシ



種まき(5/21)



草取り(8/16)



収穫(9/22～24)

落花生おにぎりの販売

